



なごやかな懇談会

第14回大阪消防 清風会総会開催

恒例の昭和五十五年度大阪消防清風会総会は九月三十日午後三時から、都島区網島町の大園園において、大島大阪市長、鴻池大阪市長、連合防火協力会長の臨席を得て消防局幹部及び会員一二五名の参加のもと盛大に開催された。

定刻の午後三時に、青木常務理事の司会で進められ、最初に出席者一同が、殉職消防職員並びに他界された先輩同僚のご冥福を祈って黙とうを捧げたあと、市会会期中ご多忙のところご臨席を願った大島市長からごあいさつ(要旨別記のとおり)をいただき、引き続き、大田会長から会員皆様のご協力により本会が円滑に運営していることの謝意並びに、本年三月消防職員二名が雪山で遭難した際、皆さんに遭難援金をお願いしたところ多数のご賛同をいただいたことに感謝します。

大阪消防清風会



大島 市長あいさつ

次に来賓を代表して、鴻池大阪市長連合防火協力会長から、今日の近代科学消防の礎を築かれた先輩のご尽力に敬意を表するとともに、行政の推進に積極的な支援していく所存であるとの祝辞が述べられ議事に入った。

まず第一議案として、昭和五十四年度事業並びに歳入歳出決算について、事務局から報告され、続いて見玉監事から監査結果の報告があり、会員の了承を得た。

第二議案の昭和五十五年事業計画並びに歳入歳出予算についても原案どおり承認された。

その他の案件として、本年は役員改選期に当たっているが、去る五月七日開催された理事会において審議された結果、全員留任することに決定した旨の報告が

あり、これを了承された。また、本年四月一日付で地区長に転任された前小川総務部長を会則第十一条の規定により本会の顧問に委嘱した旨報告された。

終りに、深澤消防局長から昨年十月に発生した消防職員の殉職並びに本年三月の雪山遭難事故に際して、会員各位から賜ったご厚情とご芳志に對するお礼のことはあり第一部総会が滞りなく終了した。

午後四時から第二部の懇談会に移り、圓井大阪市助役から、ご祝辞をいただいたあと和気あいあいの中で談笑が続き午後五時三十分野村吹田市消防長の発声で万歳三唱を行い、再会を約して散会した。



春の叙勲

(昭和五十五年四月二十九日付)



勲五等双光旭日章
元大阪市消防正監
久保忠雄(71才)
堺市百舌鳥赤堀町
五十七五五



勲六等瑞宝章
元大阪市消防司令長
浦上儀一郎(68才)
東住吉北田辺
四十九一八



勲六等瑞宝章
元大阪市消防司令長
川本蔵雄(67才)
奈良県北葛城郡当麻町
八三二二二

秋の叙勲

(昭和五十五年十一月三日付)



勲五等双光旭日章
元大阪市消防監
奥野利秋(71才)
生野区林寺四十二の三



勲六等単光旭日章
元大阪市消防司令長
岡本政雄(67才)
高槻市淀の原町
五六の二六



勲六等単光旭日章
元大阪市消防司令長
平井明治(65才)
東大阪市鴻池
一一九の二二

市長あいさつ (要旨)

今日は、大阪消防清風会総会の席にお招きをいただきありがとうございます。又、皆さんのお元氣なお姿に接し大変うれしく存じます。

九月一日は、防災の日であり、また九月は、敬老月間になっておりますが現在市内には一〇〇才以上の方が二二名、内二名が男性で十名が女性となっております。本年度末には五名の方が一〇〇才とされます。

九月一日に城東区内の一八八才の女性をお尋ねしたところ大変お元氣で身の廻りのことは、すべて一人でやっておられますが、地震が発生した場合、この様な老人や寝たきり老人身体障害者の方々がいかにして避難地へ避難させられるかが問題となります。

大地震が起れば私の責任が二つあります。一つは、市民を避難地へ安全に避難させることと市民の人心安

定をはかることとあります。私はこのため消防ヘリコプターを、唯一の情報源として、二六区を回り市民の皆さんを激励しますが、市内三〇〇カ所の広域避難地にて老人の方々などをいかにして誘導するかが、むづかしい課題となってきます。警察、消防は、それぞれの任務があり、誘導にあたることはむづかしいので、地域での体制作りが重要であります。

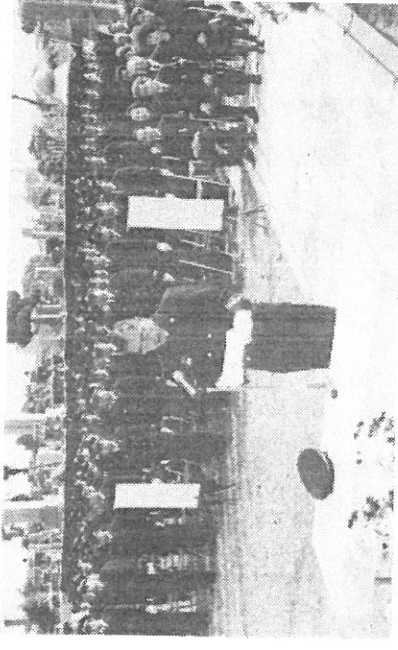
私達が家庭を守り自分自身を守るのはたやすいが、地域のためだけの犠牲をはらえるかが問題であります。皆さんには地域で、また、消防職員にはそれぞれの持場でその中心となつて地域防災につとめていただきますようお願いいたします。

皆様には、市政の各般にわたつてご支援をいただいておりますが、今後ともよくお願いいたします。

殉職消防職員 慰霊祭行われる

十月二十七日(月)午前十時から、大阪市阿倍野区殉職消防職員墓地において、殉職消防職員七十八柱合祀の慰霊祭が行われた。

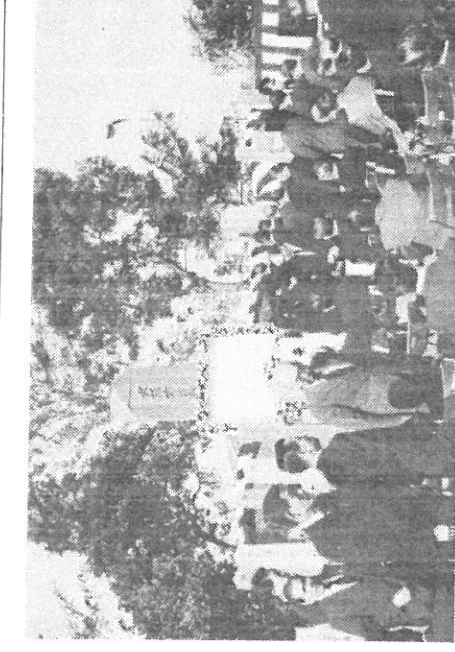
殉職者の遺族ら参列者二四五名が黙とうの後、祭主深澤大阪消防局長が祭文を奏上、大島大阪市長及び鴻池連合防火協力会長が追悼のことはそのべられた。つづいて消防音楽隊が追悼



深澤 消防局長の祭文奏上

曲をかなでる中献花が行われ、終始厳しゆくのうちに滞りなく慰霊祭を終了した。

なお、本会からは奥野副会長をはじめ、顧問、理事の方々が多数参列され追悼の意を表わした。



大阪消防清風会役員献花

四月二十九日、天皇誕生日の朝刊紙上に、春の生存者叙勲の発表があり、その中に自分の氏名を見た時には言いしれぬ感動に胸を打たれました。

私、はからずも受章の光栄に浴させて頂き感謝いたしております。

五月十五日、東京大手町にある日経ホールにおいて消防関係者の勲章伝達式が行われ、妻同伴で出席させて頂きました。

消防庁長官 叙勲の栄に浴して 式辞のあと、 浦上儀一郎 同長官より各

の豪華なシャンデリアや調度品、飾り気ない清楚な中庭等を左に拝見しながら豊明殿に向いました。その途上で妻と共に「本当に消防の職にあつて良かったすア」と、どちらからともなく異口同音にささやき交しました。

豊明殿においては正面の瑞雲たなびく大壁画を背に御立台上に立たれた階下に拝謁し有難たいお言葉を賜りました時の胸の底からこみ上げて来る感激は六十八才になる今日まで

で感じた事のない一瞬でした。拝謁を賜つたひとときの状況は私のこれからの一生の想い出として強く心に焼きついております。

これ偏に関係各位や同僚皆様様の並々ならぬ厚情と心から感謝いたしております。

今後の余生はこの榮譽と皆様のご恩を忘れることなく一層襟を正しての行動でなければと決意しておりますのでご指導とご鞭撻下さるようお願い申し上げます。

皇居到着後は宮内庁役人の案内で通路右側に記帳の欄

昭和54年度歳入歳出決算書

1. 歳入金 1,554,045円
1. 歳出金 1,325,990円
1. 差引残高 228,055円 (翌年度へ繰越)

昭和55年度歳入歳出予算書

1. 歳入金 1,600,000円
1. 歳出金 1,600,000円
1. 差引残金 0円

歳入の部			歳入の部		
款	項	目	予算額	収入額	増△減
1会費	1会費		984,500	943,500	△41,000
			984,500	943,500	△41,000
	1定額会費		36,000	29,000	△7,000
	2終身会費		186,000	204,000	△18,000
	3過年度会費		2,500	2,500	0
	4総会会費		760,000	708,000	△52,000
2繰入金	1繰入金		119,200	115,600	△3,600
			119,200	115,600	△3,600
3補助金	1補助金		100,000	100,000	0
			100,000	100,000	0
4雑収入	1雑収入		165,142	211,787	46,645
			165,142	211,787	46,645
	1広告料収入		80,000	80,000	0
	2雑収		85,142	131,787	46,645
5繰越金	1繰越金		183,158	183,158	0
			183,158	183,158	0
歳入合計	1繰越金		1,552,000	1,554,045	2,045

歳出の部			歳出の部		
款	項	目	予算額	支出額	不用額
1会議費	1会議費		835,000	741,180	93,820
			835,000	741,180	93,820
	1総理事		760,000	703,840	56,160
	2事務費		75,000	37,340	37,660
			287,000	244,660	42,340
	1消耗品費		95,000	73,360	21,640
	2備品費		15,000	15,000	0
	3印刷製本費		20,000	20,000	0
	2通信費		60,000	38,360	21,640
	1通信費		213,640	213,640	0
	2通信用紙		213,640	213,640	0
3事業費	1連絡費		215,000	170,150	44,850
			162,850	118,000	44,850
	1会報印刷費		90,000	70,000	20,000
	2会員名簿印刷費		72,850	48,000	24,850
	1雑立金		25,000	52,150	27,150
	2雑立金		25,000	52,150	27,150
	1積立金		155,000	170,000	15,000
	2積立金		155,000	170,000	15,000
	1子備費		60,000	45,000	15,000
	2子備費		60,000	45,000	15,000
歳出合計	1繰越金		1,552,000	1,325,990	226,010

終身会費積立金			終身会費積立金		
項	目	収入	支出	残高	
昭和54年3月末残高				551,062	
30周年記念証書収入		258,688		809,750	
預金利息		10,669		820,419	
昭和54年度積立金		170,000		990,419	
昭和54年度繰出金			115,600	874,819	
差引昭和55年3月末現在高			874,819円		

かなしみ
次の方々が逝去されましたのでお知らせします。
ご遺族には本会から哀悼の意を表しました。
小西昭和54年10月4日死亡
高瀬敏一氏12月6日死亡
細田長策氏2月10日死亡
宮永正氏2月20日死亡
岩田亀吉氏3月27日死亡
徒七位に叙す
古昭厚盛氏4月10日死亡
那谷義高氏4月19日死亡
山元誠藏氏9月13日死亡
昭和55年瑞宝章に叙す
岸本宗三郎氏10月4日死亡
細川留一氏17日死亡

◎大阪市消防出初式
と き 一月六日(火)
午前十時
ところ 北区桜の宮公園二帯
参加機械 二機七〇台
参加人員 一、三〇〇名
◎水上出初
と き 一月十日(土)
午前十時
ところ 大阪港天保山側水上消防署北
参加部隊 十七隻
参加人員 二八四名

火の始末 かけ声よも 心がけ

(本年度大阪市防火標語)

大阪市消防局幹部		
局長	消防正監	深澤
総務部長	消防正監	萬代
総務課長	消防正監	酒匂
人事教養課長	消防正監	馬越
総務部主幹	消防司令長	新堂
子防部主幹	消防正監	荒木
子防査察課長	消防正監	本谷
設備課長	消防正監	米谷
危険物課長	消防正監	熊野
予防部主幹	消防司令長	松下
予防部主幹	消防司令長	石田
警防部長	消防正監	中田
計画課長	消防正監	國本
司令課長	消防正監	高橋
救急課長	消防正監	谷口
機械課長	消防正監	片山
警防部主幹	消防正監	今西
警防部主幹	消防正監	太田
警防部主幹	消防司令長	滝本
警防部主幹	消防司令長	森本
消防学校長	消防正監	杉村
北消防署長	消防正監	中尾
都島消防署長	消防正監	山本
福島消防署長	消防正監	大林
此花消防署長	消防正監	大西
東消防署長	消防正監	松本
西消防署長	消防正監	矢部
港消防署長	消防正監	小川
大正消防署長	消防正監	岡積
天王寺消防署長	消防正監	十河
南消防署長	消防正監	山西
淀川消防署長	消防正監	柴井
東淀川消防署長	消防正監	辰巳
生野消防署長	消防正監	林恒
旭消防署長	消防正監	八幡
城東消防署長	消防正監	中須
鶴見消防署長	消防正監	大倉
信野消防署長	消防正監	榎野
上之江消防署長	消防正監	國貞
住吉消防署長	消防正監	倉田
東住吉消防署長	消防正監	吉川
平野消防署長	消防正監	吉田
西成消防署長	消防正監	黒波
水上消防署長	消防正監	川一
		夫

よかった消防に進んで 妙中直和

昭和五十二年四月、三十五年間の消防生活にピリオドを打って、早くも三年半の歳月が流れた。退職と同時に娘は嫁ぎ、息子は大学を卒業して就職、今では狭いながらもマイホームを持つこともでき、消防一筋に歩んできたことの幸せを、夫婦ともども、しみじみと噛みしめている。

しかし、その私も消防手を拝命するまでは全然消防には無関心であった。当時、警察官行政万能時代であって、警察官に大いなる希望を持ち、徴兵検査で軍人になろうと、早くから試験問題集をひもとく、大阪府では勿論、近府県から場合によっては、台湾や朝鮮総督府、果ては満州国の警察官まで受けようと、受験に備えて頑張っていた。ところが、大阪府巡査の試験を受けるようになって、万一

不合格になったときのことを考え、その時の滑り止めにと、あわせて消防手採用試験を受験したのであったが、それが我が人生の進路となろうとは、運命というもののは万事塞翁の馬、どうなるかわからないものだと思ふ。その当時を顧みて感無量である。幸い両方とも合格したが、消防は七月、警察は九月の採用であった。当然私としては巡査になりたくそのつもりであったが、父親や周囲の人びとが「お前の性格では消防の方がよいのでは」という執拗な勧めに従い、とにかく早い方がよからうと意を決し、長年抱き続けてきた警察に対する憧れを捨て、昭和十七年七月一日、大阪府消防練習所に入所し、消防生活の第一歩を踏み出した。

井上良太郎消防課長から大阪府の諸令交付の後、所庭において夏服、制帽、階級章等服装一式にそえて最

後、短剣を支給され、その日から新任官待遇の官吏となつた感激は、今も忘れることのできない思い出の一つである。

しかし、それも四十五日あつた半月で練習所を卒業できるといふ八月十五日に召集令状が下り、八月二十五日消防練習生の現職のまま技術兵要員として歩兵第八連隊に配属し、その後、東京兵器補給廠田無教育隊で五ヵ月間技術兵の教育を受け、一旦、原隊に帰った後は、蒙古高原に至り、戦争第三師団防空隊に転属、北支、中支と転戦、湖南省湘軍で終戦を迎え、長沙の郊外で捕虜となつて十ヵ月を過ごした。その頃、私達の兵舎と道一つ隔てた兵舎に今はなき林家染九郎、大橋上等兵がいて、私達の中隊にも一度慰問に来り、得意の落語を聴かせてくれたものである。

それはともかくとして、あれだけ憧れていたのだから、二ヵ月ぐらい待っても警察に入ろうと頑張っておれば、それこそ、どちらでも誤算になっていたところであつた。縁があつたところであつた。縁があつたところであつた。縁があつたところであつた。

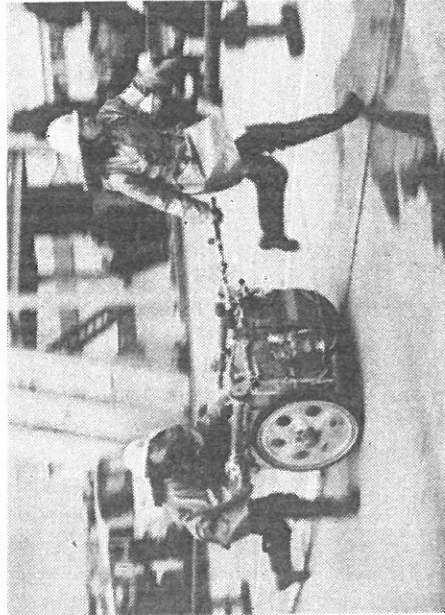
この競技会は、消防隊員の体力と気力を練磨するとともに、小隊長の指揮能力と隊員相互間の協同動作及び技術の練磨、向上を図ると共に、併せて警防機械、資器材の愛護心並びに火災現場での危害防止思想のよる一層の徹底を期することを目的に毎年行われているもので、深澤、修消防局長を大会々長とし、また、審判長に中田警防部長が、その他大会役員多数が見守るなか、各消防署より選抜された一小隊、五名、計二五五人が参加した。

この結果、都島消防署が総得点二二八点で、みごと優勝した。二位以下の順位は次の通り。

二位	阿倍野消防署
三位	天王寺消防署
四位	西消防署
五位	平野消防署

◎昨年度の順位

優勝	淀川消防署
二位	平野消防署
三位	都島消防署
四位	東淀川消防署
五位	港消防署



署の名譽をかけ疾走する隊員

第30回消防ポンプ操法大会

ガラスの窓に花が咲く 四方 保。

ことしの夏だったか、新聞の「読者の声」欄に、戦友会についてのそれぞれ意見が掲載されていて、反響もすいぶん大きかったようだ。

「戦友会は、戦争を懐かしむ話ばかりしていて、戦争を助長するようなものだ」というのが戦友会への反対論で、それに対して、「いや、そうではない。生死を共にした仲間の親睦の会であつて、むしろ戦争反対の会である」というのが戦友会を肯定する人の声であつた。

いずれにしろ割り切つて答の出るようなものではない。賛否両論があつて当然のこと、不思議はない。不思議というのは、誰も彼もが右へ左へ並べ式に同一の答が出た場合のことであつて、もし仮にそんな現象が起こつたなら、私のよう

な小心者は不思議を通り越してしまつて、恐ろしさのあまりガタガタと震えだすかも知れない。

私も戦争中は兵隊で、南方戦線で終戦を迎えた。だから、と言うのが復員後、戦友会が結成されたことであつて出席したりしている。終戦後はや三十五年、あの頃は若かった連中の頭もすいぶん白くなつてしまふ年齢以上に老け込んでしまつてゐる人もゐる。だがそんなことはともかくとして、懐かしい仲間たちに接するのは理屈ぬきに楽しいものだ。

男性も女性も、戦後は少しづつだが寿命が延びてきているようで、当然その分だけ長生きできて、一応慶の至りということになつてゐる。「長生きしたんで、しんどいだけだ」なんて言う人もたまにはゐるのだが、

まあそうへそを曲けたり深刻になつたりせず、たとえ思いどおりにはならずとも、素直に喜び、有難がつてゐるほうが人生も楽しいし、それに良いことだつてなんぼかありそうな気がする。

謡曲「菊慈童」に、不老不死の妙薬を飲んで七百歳を送りぬ……というのがあつた。もつとも、現世にそんな妙薬のあろうはずはないのだが、もしあつたとしたら、この地球上は既に人間どもがひしめきあつていて、今ごろはもう私たちの住めるスペースなど、何処にもなくなつてゐたかも知れない。お陰で、と言つていいのかどうか、不老不死の妙薬が無くてよかったと、そんなことを思つてみたりもする。

とにかく、生あるものは必ず死ぬ。どれほど偉い人

だつて、金満家だつて、命が尽きれば一巻の終り。風と共に去りぬ、である。となれば、例え一時間でも長く生きてゐるほうが、もなく、ソントク勘定は明らか。延びた寿命は有効に使えろし、楽しむこともできるというの。

昔は、といつても現在もさして変わつてはいないのだが、どういふものか年齢をとるにしたがつて、地味なものを身に付ける人が多くなつていく。もつとも、人それぞれに好みがあつて必ずしもそうとは言ひ切れないのだが、まあ一般的風潮としてはそうなつていて、またそれが常識ともなつてゐるようだ。

たしかに私たちは「常識ですよ」と言われると、そんなものかなあと、つい恐れ入つて引き退つたりするのだが、よく考えてみると、その常識なるもの、多分に怪しい面もあつて甚だ疑わ

しい。

誰が考えたか言葉が知らないが、常識というやつは凄く都合よく便利に出来ていて、それに不思議な魔力のようなものを持つてゐる。だから、理屈に合わないことや間違つてゐると分かれば「常識だよ」と呪文を唱へられると、そんな疑問などはたちどころに吹っ飛び、霧散してしまつて「ハイ、ごもつとも」と、そんなことになつてしまつたりする。

ものを正確に測るもの、正確な尺度がゐる。ものを測る人はいても、肝心の尺度が正しいかどうかを点検しようとする人は、きわめてまれである。尺度は正しいものという思い込みがあつてのことだろうが、長い年月のあいだには至らぬ狂うことだつてあり得る。それを弁えずに正確なものと思ふ、これはまことに危険

で、思わぬときに、思わぬことでケガをしかねない。常識といわれているものにも、そんなのがかなりあり。静かな思考力を持つ人なら、(年齢をとるにしたがつて地味なものゝ)といつた考え方が間違つたものであることくらいは承知のはず。老老化防止には、暗い感じのすいものを身にまとうほうが精神も肉体も華やぐし、若さを保つことができるのはご存知のはず。にもかかわらず、実際にはそうではないというところは、つまり常識という怪物が、「年配者には地味がよろしい」とと全く逆のことを、耳許でささやきかけるからである。

還暦を迎えると本卦がえりといつて、赤い頭巾や羽織を着用して祝う。赤ん坊に還つたとしてのお祝いである。どう考えてみても赤ん坊とまでは無理だけれども、たとえいくらかでも若

消防職員三名登山中に 雪崩に合つて遭難

清風会から遭難に援護金贈る

去る三月二十二日、長野県、槍ヶ岳北鎌尾根を登山中の消防職員三名が、雪崩に合つて遭難しました。

消防局においては、職員から援護金を募り、登山部を中心として捜索隊を編成して、数回にわたり現地に派遣しました。

その結果、四月十一日、予防査察課勤務、消防司令補 清田信行君(三十七才)の遺体を収容、六月八日残り二名、危険物課勤務、消防士長 福重憲嘉君(三十

才) 住吉消防署勤務、消防士 大久保剛君(二十三才)の遺体が収容されました。

この捜索活動には多額の経費が予想されたため、本会としては、早速、理事会にはかり全会員に遭難援護金をお願いしたところ、三三二名の会員から総額、一、二八〇〇〇円の募金が集まりましたので、六月二十五日それぞれの遺族に、三七六〇〇〇円をお贈りしました。

財団法人

大阪府危険物安全協会

大阪市危険物安全協会

住宅建築無料相談

あらゆる建築のことなら…

岡建設

会員のみなさん なんでもお気軽に

ご相談下さい

岡建設株式会社

事務所 大阪市東成区中本四丁目二二六
電話 〇六(九七二)二九九五
出張所 大阪市淀川区東三国二丁目二九一五
電話 〇六(三九二)一一六四

高級紳士服御詔

高級既製服は当店へ

飯野洋服店

清風会会員 飯野 円一

大阪市旭区今市二丁目七番四号

電話 〇六(九五三)一七六三

中村印刷

中村 正雄

大阪市福島区福島八十四一九

電話 〇六(四五八)二五二二

消防職員文化展開催

毎年、秋に開催されている、消防職員厚生会主催の文化展が、本年も十一月十一日から十五日(午前十時、午後五時)まで消防局七階講堂において、書道、絵画、写真、手芸、園芸など一七四点が出展され、訪れた人々から好評を博した。

原稿募集

随想、思い出、俳句、短歌、川柳その他意見など何でも結構ですから会員の皆様ふるつて、どしどしご投稿ください。

次回会報は、来年十二月初旬頃発行の予定でありますので、出来得る限り十月末日までにご投稿くださいますようお願いいたします。

新 会 員 紹 介

氏 名	〒	住 所	電 話	職 業 (会社名)	退職(年月)
永 久 孝 雄	666-01	兵庫県西川市東畦野字紫金山10-15	(0727) 94-5629		西淀川 S.55.8
長 畑 幸 男	586	河内長野市松ヶ丘中町1603	(0721) 52-6557	森 本 精 院 (06) 702-0010	東住吉 S.54.8
向 井 政 一	586	河内長野市西代町13-1	(0721) 53-6927		南 S.55.8
佐々木邦義	553	大阪市福島区鷺洲3丁目7-22	(06) 458-6498	風 不 動 産 (株) (06) 251-3401	此花 S.55.8
坂 本 英 雄	552	大阪市港区港晴2丁目2 F310	(06) 573-5054		大 正 S.55.6
至 田 昭 市	582	柏原市円明町9-10	(0728) 78-7623		西 S.55.6
森 元 良 夫	671-23	兵庫県赤松郡山崎町須賀538-63	(07906) 2-6317		西 S.55.6
野 崎 全	532	大阪市淀川区木川東4丁目17-14	(06) 301-7072		危路物 S.55.1
大 川 広 一	579	東大阪市石切町4丁目12-23	(0724) 85-1465		水 上 S.55.9
松 浦 健 一	547	大阪市平野区瓜破西1丁目25-969	(06) 797-8274		水 上 S.54.12
荒 木 義 夫	598	泉佐野市日根町5915の14	(0724) 62-8913	イズミヤ(株)尾崎店	平 野 S.55.6
中 川 房 太 郎	558	大阪市住吉区我孫子東2-25	(06) 699-6170		此花 S.55.6
富 名 腰 朝 和	560	豊中市熊野町4丁目2-17	(06) 849-9324		生 野 S.55.1
長 屋 音 松	633	羽曳野市西浦2丁目1720-4	(0729) 57-0941	大阪国税局事務管理課 (06) 768-0911	大 正 S.55.4
尾 藤 清 成	554	大阪市此花区梅香2丁目6-6	(06) 468-7267		此 花 S.55.6
梅 野 ミツ子	581	八尾市美園町4丁目30-3	(0729) 97-6929		生 野 S.55.8
玉 利 善 吉	557	西成区千本北2丁目3-19	(06) 661-1708		鶴 見 S.55.2
川 島 由 男	639-21	奈良県北葛城郡当麻町字長尾316-18	(0745) 48-4340	風 不 動 産 (株) (06) 251-3401	生 野 S.54.7
的 場 信 雄	573	奈良県宇陀郡榛原町大字内牧516	(0745) 2-1755		天王寺 S.54.10
山 下 茂 光	639-21	奈良県北葛城郡新庄町西辻110	(0745) 2-1041		東 S.55.9
泉 ケ イ	558	大阪市住吉区帝塚山中5の8	(06) 673-9640		南 S.55.9
岩 室 嘉 夫	592	堺市浜寺石津町西4丁目20-8	(0722) 47-2009	(株) 吉 岡 工 務 店 (06) 245-3701	西淀川 S.55.9
〔合 五 郎〕	544	大阪市生野区小路1丁目17-17	(06) 751-9455		東 S.55.10
山 口 保 和	633-03	奈良県宇陀郡室生村大字龍口915	(0745) 2-2159		鶴 見 S.55.9
浦 垣 富 治 郎	573	枚方市枚方之上町10-2-412	(0720) 41-7031		西淀川 S.55.10
向 井 鶴 民	555	大阪市西淀川区竹島2丁目3-37	(06) 471-5417		福 島 S.55.10
泉 銀 松	546	大阪市東住吉区公園南矢田1丁目15-20-286	(06) 697-5304		人 教 S.55.10
阪 田 邦 太 郎	578	東大阪市加納466-44	(0720) 73-0966		住 江 S.55.10
津 山 昇	586	河内長野市喜多町6	(0721) 63-7955		

会 員 住 所 等 変 更

支部名 (旧)	支部名 (新)	氏 名	〒	現 住 所	職 業	退 居 月 日
南	東日本	福 島 信 夫	518-14	三重県阿山郡大田村大字三瀬850 (05954) 6-1053		北 S.46.1
東	東	岩 崎 正 一	546	東住吉区矢田1-14-7-15 (06) 699-2520		城 東 S.49.6
東	東	市 川 数 夫	546	東住吉区針中野3-6-14 (06) 703-3710		西淀川 S.55.6
東	東	乾 民 藏	546	東住吉区西今川4-1-13		南 S.13.4
東	東	浦 上 儀 一 郎	546	東住吉区北田辺4-9-8 (06) 719-0426	不 動 産 (株) (06) 251-3401	城 東 S.42.1
東	東	木 戸 一 夫	546	東住吉区駒川4-6-3 (06) 691-3664	木 戸 住 宅 経 営 社 (06) 691-3664	布 施 S.40.4
東	東	澤 田 一 雄	546	東住吉区公園南矢田4-3-21 (06) 692-3235		南 S.14.11
東	東	柴 田 正	546	東住吉区西今川1-1-27 (06) 713-8622		阿倍野 S.47.6
東	東	寺 垣 美 幸	546	東住吉区駒川4-17-17 (06) 698-3420		北 S.41.12
東	東	中 山 三 十 四	546	東住吉区住道矢田1-3-17 (06) 702-4476		大 正 S.38.11
東	東	房 川 末 一	546	東住吉区北田辺1-4-1 (06) 714-3022		南 S.45.2
東	東	村 上 竹 一	546	東住吉区駒川1-21-23 (06) 713-9270	(株) 主婦の店今川店 (06) 704-0180	東 成 S.46.7
東	東	吉 田 作	546	東住吉区照ヶ丘矢田2-12-3 (06) 702-6082	個 人 タ ク シ ー	南 S.27.3
東	東	赤 松 貞 亮	546	東住吉区東田辺1-13-28 (06) 622-1708	三菱電機(株)大阪営業所 (06) 347-2207	警 防 部 S.52.4
東	東	増 本 義 男	546	東住吉区南田辺5-21-4 (06) 691-4622	(株) ホ テ ル プ ラ ザ (06) 453-1111	北 S.51.6
南河内	南河内	水 原 勝 次	583	羽曳野市譽田5-6-13 (0729) 53-2337	(株) ジャパンメンテナンクス (06) 202-3144	水 上 S.47.4

社 団 法 人

大 阪 市 防 火 管 理 協 会

会 長 小 林 洋
副 会 長 大 西 慶 藏

高 級 紳 士 服 御 詔 専 門 店
高 級 既 製 服

メンズヤギ

TEL (06) 943-7428
東 区 南 新 町 2-36
夜 間 TEL (06) 673-9041

建 物 の 総 合 管 理

(昭和43年9月1日創立)

- ★ 定年退職後のあなたの.....
- ★ 消防の経験を活かせる.....
- ★ 安定した職場です。

(事業所は大阪市内)

大 阪 防 災 管 理 株 式 会 社

社 長 赤 井 次 郎 (元大阪市消防局長)

大阪市西区本町1丁目6番2号
(地下鉄四ツ橋線 本町駅下車)

TEL 06 (531) 2714 (代)

自宅 06 (797) 1525

担当 荒 山 貞 夫

気軽にご相談ください。

運 命 鑑 定 所

神 霊 学 易 断 本 部

大 教 正 北 村 勝 大
鑑 定 士

大阪市住吉区墨江東2丁目17番地

T E L (06) 673-6786 番

堺出張所

T E L (0722) 23-6348 番

晩 年 の 運 大 賀 正 祐

大阪府と奈良県との境界に聳える、標高六四二米の生駒山宝山寺というお寺があります。ここにお聖天様が祀りしてあります。現世御利益が、年中参詣の人が絶えません。月の一日と十六日は御縁日で、この日は特に参詣者が多く、それを当て込んで石の参道には多くの露天店が出並びます。その中に一人の易者がいました。天幕、横幕を張り囲んで一城とし、折畳み式の机の上に算木、筭竹、天眼鏡、和綴じの易本を並べたところ、は、天晴れ易者としての店構え、見料三十円也と書き、ました標札も、七つ道具の一つ、ちやんと忘れずに出しています。「日本易学会に大書した幟も立てていま

す。大巾天竺木綿を四角に切つて、十二支の絵を表わし、両側に生れ年を書いたものを石の参道上に掛け、四つの小石をその四隅に置いて風押えにしています。緋房をつけた磨き棕櫚竹の鞭で、十二支を指し「子の年生れの人」と、人寄せをしていすのが、これです。先生です。身長一・九米、縦横揃った大男、色あくまの顔に著えた長髪は、彼の三国志に出てくる張飛のよう。またその音量は、怒濤の如く、どこか、どこか、どこか、と、サツと正祐の相対観と、矢庭に「旦那手相拝観」と、サツと正祐の右の手を掴み、疾風のように、日蓮宗が叩く団扇のような眼鏡で、正祐

しみにしていました。今日もまた聞いていました。子の年から始まって、寅卯辰巳午と廻って、正祐の生れ年の未となり。未の年に生まれた人は、まじめで気はやさしく、親切で人に可愛がれる、正直であるが、時にはその上に馬鹿という字がつかうときがある。大金は儲けないが、煙草には不自由しない。全くです。生まれて今日まで、たばこ吸うこともなく、またこれから後も、たばこを吸うとも思っていない。なる程、八卦か、八卦か、八卦か、と苦笑いして、相対観と、矢庭に「旦那手相拝観」と、サツと正祐の右の手を掴み、疾風のように、日蓮宗が叩く団扇のような眼鏡で、正祐

の筆を観ていましたが、「ウー」と唸りおもしろに曰く「あなたは良い子持ちじや、晩年の運が大いにある。晩年の運があるとはありがたい。そこで「僕は未の年生まれで六十才だが、その晩年の運は一体幾つぐらいの頃になるのか」と尋ねました。正祐は目を閉じて「先ず九十才からですな」。九十才まではまだ三十年あります。正祐が九十才まで生きられるかどうか、ポカポカと肩を揺すつての笑い。そのまた開けた口の大きいこと、大和長谷寺の牡丹のようです。思まします。正祐の掌を握りましたとたん、正祐は「痛い」と悲鳴を思わす。全町民の方たち

上げて飛び上りました。それから、半月ぐらいは、握られた方の掌が痛みました。布施市消防在職中、公害住いの身であれば退職後の置かねばならないことを痛切に教えられ、現住所に土地を求め、松の木大小四十八本を切り倒し、粗末な家を建てまして、二カ年家をにしています。昭和三十年八月、消防十六年、男の花道を踏んでこの家に住みました。町会長、民生委員、納税組合長などに就任したので、町の発展と町民の福祉のために、全身全魂を打ち込みました。中でも、最も力をいれたのは「この町をして、奈良市に於ける無火災のモデル地区にする」といふ念願でした。四人の子供たちは、この正祐を大切に親孝行をして呉れます。全町民の方たち



俳 句 ・ 短 歌 ・ 川 柳

江 口 武 雄

俳 句
菊の荷を解く太陽の色とりどり
夕雲の光そめたる落葉かな
着飾りて裾ひきずりて七五三
短 歌
ほんのりと口紅つけてさっそうと
パート婦人に今朝も出合えり
川 柳
朝露に濡れしポストの口払い
封書の音を確かめて去る
旅にきて日日はうがくはさだまらね
思わぬ方より朝の陽は射す
診察に失礼ながら舌を出し
歳の坂浮気な花も何時か枯れ
吾が顔は見えず知人の老けたこと